

平成26年度 岡山県農林水産総合センター生物科学研究所
第3回 外部評価委員会【議事概要】

日時：平成26年10月21日（火）
9：57～10：50
場所：ピュアリティまきび 2階エメラルド

1 開 会

委員全員出席（6名）

2 議 題

・生物科学研究所のあり方検討に関する報告書について

<事務局>

※資料説明

<委員長>

・報告書（案）について、各委員のご意見を願います。

<委員>

・十分に練った内容の報告書となっており追加すべきことはない。

<委員長>

・「県民に十分浸透しているとは言い難い」とあるが、県民への浸透について、どう判断しているのか。

<事務局>

・決まったものはないが、情報発信を出来るだけやっていくという努力は必要であり、また、そういった機会を増やしていきたいと考えている。

<委員長>

・生物科学研究所のホームページは非常にかたい。他県では、トップページが非常に分かりやすく、写真が多いところもある。県も国もそうだが、文章が多い。

<委員>

・昨年度から検討をしているが、県のホームページのフォーマットがあって、なかなかうまくいかない。

<委員長>

・行政サイドでうまく工夫できないものか。

<委員>

・私も委員になる時に調べたが見つかりにくいし、研究内容の紹介もない。内容もかたい。

<事務局>

・そういったご意見を、是非、参考にさせていただきたい。

<委員>

・生物科学研究所は外部資金を多くとっているため、将来、国等と県の方針とに矛盾が出てきた時のことをあらかじめ考えておく必要があるのではないか。特に農業分野の研究は、期間が長いこともあるので。

<事務局>

・外部資金を応募する際には、県で設定しているテーマに沿って申請しているため、現状では矛盾が生じることはないと考えている。

<委員>

- ・農業研究というのは、種をまいたら、実験できるのは年に1回しかないといったような性質のものであるため、長期的に見ていただきたい。

<委員>

- ・十分にまとめた内容となっているので特に追加する意見はない。

<委員>

- ・報告書の表現で、「県民理解度」のところは「県民への発信度」くらいにしておかないと、後々の測定がしにくいのではないかと。やっていることを強調できる表現の方がいいのではないかと。
- ・ホームページについては、いくらでもやりようはあると思うので、事務方でいろいろと工夫をして、研究所の実態がわかるような、生き生きとしたものを作成していただきたい。大学では、フェイスブックをつくってリンクを貼った。事例も多いし、コストもかからないので、是非、検討していただきたい。

<事務局>

- ・フェイスブックは、県庁でも各課で作成出来るようになっている。前向きに検討したい。

<委員>

- ・リンクを貼れば、そこまでコストもかからない。私のところも、更新作業は、業者に出しており年に数万ほどしかかかかっていない。

<委員長>

- ・「県民への説明責任を果たす」といった表現や、また、どういった基準があるかなどについてどうかといった意見が出ているが、そこについて各委員はどうか。

<委員>

- ・報告書の最後に「説明責任の遂行を常に意識した運営」とあるので、その中で、情報発信のやり方の工夫なりが出てくると思うので、そういう意味では、この表現でもいいのではないかと。

<事務局>

- ・修正については、委員長と相談し、その後、各委員に確認をさせていただきたい。

<委員>

- ・あと、強調していただきたいのは、このような研究施設は中四国ではここにしかないということ。将来、どうなるかわからない。そのときに、農業研究の中心的な役割を果たすなら、十分に強調していいのではないかと。

<委員>

- ・もし、ホームページで工夫が出来るなら、岡山県は生物学などの研究者が多いところだというようなバックグラウンドも入れて、中四国としての優位性を発信していただきたい。

<事務局>

～報告書の今後の取り扱い等について説明～

- ・報告書について、11月開催の県議会農林水産委員会へ報告させていただく。
- ・併せて、県のホームページ上でも公表させていただく。
- ・県議会農林水産委員会での議論・意見等については、各委員に対して、報告させていただく。
- ・報告書の内容を踏まえて、今年度中に今後の生物科学研究所のあり方について、県としての方針を決定したいと考えている。

3 その他 【各委員からのコメント】

<委員>

- ・非常に興味をもって参加させていただいた。今後も、是非、がんばっていただきたい。

<委員>

- ・全くの素人としての参加となったが、知れば知るほど、がんばってほしいなという思いになったので、是非、さらなる情報発信を行ってほしい。

<委員>

- ・岡山県には、桃太郎、桃、マスカットといった他県とは差別化できるものがある。生物科学研究所はまさに、そういったものとリンクすることをやっているのだから、岡山でしかやっていないということも、いいように捉えて、今後も、フェイスブック等で情報発信をしていただきたい。

<委員>

- ・生物科学の研究について、これだけ高度な研究をしているので、是非、この火を消さないでほしい。

<委員>

- ・県としては、短期での成果を望んでいるとは思いますが、なかなかすぐに成果が出るようなものでもないもので、そういった意見も聞きつつ、高いレベルの研究を引き続き、続けていただきたい。

<委員長>

- ・11月に生物科学研究所で果樹のシンポジウムが開催される。こういったものは、ここの委員の方にも発信していかないといけないのではないかと。どういう形で発信の仕方をするかであるが、工夫をすることで、もっと認識が広がるのではないかと。
- ・私は、長い間、岡山にいるが、これからも岡山大学、就実大学、県立大学などいろいろなところと一緒に岡山を宣伝していきたい。

4 閉会

委員長